



落穂会だより

夏季号 2013.7

社会福祉法人 落穂会 鹿児島市皆与志町2503番地 <http://www.asahigaokagakuen.jp/>

障害児入所施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821)

障害者支援施設 あさひが丘 (Tel 238-4821)

地域生活支援センター あさひが丘 (Tel 243-1112)

障害者支援施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)

障害福祉サービス事業 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)

<http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>



「ガーデンキッズセルク 開所一年を迎えて」

水 流 かおる

ガイドンキッズセルク管理者

平成二十四年七月一日よりマルヤガーデンズ三階連絡通路内に、児童発達支援事業所「ガーデンキッズセルク」を開所しました。鹿児島市の繁華街天文館の中心部で利便性の良い場所にあることから、電車やバスの交通手段しかなないご家族にとって「通いやすい」と現在多くの方にご利用いただいております。

「セルク」とはフランス語でセルクル「丸」という意味で、子どもを中心に家族や私たち事業所他関係機関が連携を取って子どもたちを支えていきたいという思いを込めてネーミングしたものです。

利用者のニーズに合わせてサービスの展開を図ってきた落穂会としては、未就学児の療育の重要性を日々感じていたこともあり、発達の遅れに疑いのある子どもたちへの発達段階にあった適切な療育によりやく着手することができたと言えます。

開設から一年が経ち、療育の質の向上と家族へのきめ細やかな支援を充実させるため日々研鑽を積んでいる中で、月六回臨床発達心理士が来所し、個別療育・発達検査・支援者へのスーパーバイズ等を行っています。また、今年度より言語聴覚士も加わり言葉の発達に不安を抱えるご家族からは期待の声が寄せられています。さまざまな年齢の子どもたちに対応するため「りんりん」「きらきら」と一部クラス編成も行い、より子どもたちの発達段階に合った療育プログラムも取り入れていきます。セルクに通って来る子どもたちが、多くの人の関わりや体験の中で、より良い成長を促し日々輝いて生きて行くための「育ちの場」になれたらと思っています。子どもたちの現在の生活だけでなく、一年後五年後十年後とライフステージに合わせた継続した支援を行う事で子どもたちの未来が豊かで輝いたものになると考えながら日々子どもたちと共に私たち支援者も学び続けています。

はっぴいエコプラザ吉田

地域生活支援センターあさひが丘 就労継続支援B型『ワークショップあすもね』では、タイヨー吉田店にて、毎週水曜日九時三十分から十六時にはっぴいエコプラザ吉田を開催しています。はっぴいエコプラザは資源ごみを持って来て頂いたお客さまに、グリーン券（10%オフ券）をお渡ししています。この活動で得た収益は利用者の工賃となりますので、お近くにお寄りの際にはご協力をお願いします。



新入所者紹介

◆あさひが丘学園 佐藤 絢香さん
あさひがおかかぐえんのみんなとたのしくすごしたいです。

◆旭福祉センター 高松 恵太さん
仕事をしっかりとし、学園生活を楽しく過ごしたいと思います。

新通所者紹介

◆あさひが丘 通所部 精松 未華さん
皆さんと仲良く、沢山の仕事を自分なりにがんばりたいです。

◆地域生活支援センター 福留 基記さん
お掃除大好き、戦隊もの大好き息子を、皆さん宜しくお願いします。

◆地域生活支援センター 新福 孔一さん
あすもねでさきようをたくさんがんばりたいです。

真辺 紗也香さん
これからも、仕事を一生けんめいに頑張りたいと思います。

新任職員紹介

◆地域生活支援センター 金子 信一
子ども達に寄り添いながら、本来持っている力や育ちを見守ります。

◆地域生活支援センター 岩松 昌和
子ども達が、楽しく過ごせるように笑顔で支援していきます。

編集後記

二〇一〇年夏季オリンピックに向けていくつかの競技が除外されてしまいました。九月にはレスリング、スカッシュ、ソフトボールの三競技から最終候補が一つに絞られます。私個人的には日本の活躍が期待されるレスリングに残ってほしいものです。また、開催地も東京に決定すれば夏季オリンピックとしては一大大会ぶり日本の開催となります。日本でのオリンピック競技が開かれる事を期待したいものです。(M)

「男のプレートランチ」



1,000円

かつエのどがオススメ!

今回はカフェレストランのどから、プレートランチの紹介です。のどかの人気メニュー「プレートランチ」が新しくなりました。中でも国産豚肉と採れたて野菜をオリジナルソースで炒めた「男のプレートランチ」はシェフのおススメです。ぜひ一度「賞味あれ!」

障害者総合支援法の概要②

あさひが丘学園統括施設長 水流純大

前々号において「障害者等に対する障害福祉サービスの必要性を明らかにするため当該障害者等の心身の状態を総合的に示すものとする『障害程度区分』から「障害者等の障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す『障害支援区分』」に改められることを述べたが、今号ではその見直しの内容について現在わかっている範囲で述べてみたい。

まず、現行の障害程度区分には、①現在のコンピュータ判定式は、開発された当時の要介護認定の判定式（樹形図モデル）をそのまま活用したため、肢体不自由者以外の障害の特性を十分に反映できていない、②一〇六項目の調査項目のうち、「行動障害や精神面等の調査項目（二十項目）」の結果はコンピュータ判定では評価されない、③市町村等が行う二次判定は、審査会委員の構成が異なるため、全国一律の評価となっていない等の課題があった。そのため見直し

の方針として、①現行の二次判定により近い一次判定が全国一律で可能となるようにコンピュータ判定式を抜本的に見直す、②要介護認定の判定式（樹形図モデル）は使用しない、③全ての調査項目の結果を基に判定するとの基本方針のもと、まず調査項目の見直しが行われた。

現行の調査項目は、要介護認定調査の七十九項目に行動障害、IAD L関連の二十七項目を加えた一〇六項目であるが、これが八十項目に整理統合される。より具体的には、知的障害や精神障害、発達障害の特性を反映させるために追加される項目が六項目（「危険の認識」「健康・栄養管理」「集団への不適応」等）、相互に関連する項目があることにより統合される項目が十四項目（「洗身」「入浴の準備・片づけ」が「入浴」に統合など）、また、調査時の負担を軽減するために「他の調査項目と評価が重複する」または「判定に影響が少ない」として削除される項目が二十五項目（「皮膚疾患の有無」「嚥下」等）

などとなっている。

また、選択肢や評価方法の見直しも行われることになっており、①見守り等の支援によって問題行動が生じていない場合、「問題行動がない」となり、見守り等の支援が評価されない、②声掛け等の支援によって行動ができる場合、「できる（介助なし）」となり、「声かけ等の支援が助なし」となり、「声かけ等の支援が評価されない」、③できたりできなかったりする場合、より頻回な状況に基づき判断するため、できない回数が少ないと「できる（介助なし）」となり、「できない場合があることが評価されない」、④自宅等の慣れている状況や場所のみでできる場合、より頻回な状況に基づき判断するため、「できる（介助なし）」となり、「慣れていない状況や初めての場所できない場合があることが評価されない」、⑤知的障害や精神障害で状態に変化がある場合や、難病患者等で症状に変化がある場合、調査時の状態や症状によっては「できる（介助なし）」となり、「重度の時の状態や症状が評価

旭福祉センター

・ふれあいバザー
四月七日（日）ゆうかり学園にて、ふれあいバザーが開催されました。今年は大変不安定で開催が心配されましたが、悪天候の中、およそ九〇〇人の方が来場されました。
旭福祉センターからは、陶芸、花苗、菓子、焼き鳥、かき氷、ペーカリーノ楓ではバザー限定商品の販売、カフェのどかではバザー限定黒カレシ、その他、バザー限定メニューを提供し、お客様も喜んでいました。また、販売していた利用者も元気な声でお客様に声を掛けており、利用者の笑顔が垣間見ることが出来ました。
心配された天気も回復に向かい、無事にバザーを開催することができました。当日お手伝いいただいた、保護者、ボランティアの方々、ありがとうございました。

・施設親善球技大会
四月二十七日（土）に桜島補助体育館で知的障害関係施設親善球技大会が開催されました。選手達は大会前から、昨年より良い結果を出そうと、前回の敗因を考え、熱の入った練習を行っていました。大会当日は試合中も、積極的にボールに向かっていたいき、お互いに声を掛け合いながら全員で一致団結した様子で取り組んでいました。
結果としては、一回戦敗退となりましたが、去年より善戦することが出来ました。今後も、スポーツ等を

通して、目標に向けて頑張る大切さを学んでいってほしいと思います。

・鹿児島県障害者スポーツ大会
五月十九日（土）に鹿児島県障害者スポーツ大会が行われました。当日は天候に恵まれず、雨の中開催されました。
旭福祉センターはレクレーションのみの参加となりましたが、競技の合間には選手に大きな声援を送っていました。今回のスポーツ大会では大会新記録が出るなど、他の施設の方との交流もあり利用者の笑顔が多く見られた大会になりました。

あさひが丘学園

・保護者ボランティア
四月十四日（日）、あさひが丘学園保護者会の皆様によるボランティア活動が実施され二十七家族二十九人の保護者の方々が参加されました。今回は、日中活動の創作活動を一緒に行いました。お父様方は、ネームプレート（木材カッター、焼き入れ、磨きの作業）。お母様方は、アルファベット型抜き、ポンポン作り、羊毛フェルトの製作をして頂きました。作業後の懇談会では、新規利用保護者、職員の自己紹介など和やかに会が進みました。

・施設親善球技大会
四月二十七日（土）、桜島溶岩グラウンドで施設親善球技大会が実施されました。今回から、地域生活を

援センターと合同でチームを作り参加しました。ソフトボール二部に十四名、ソフトバレー六名、グラウンドゴルフ（二チーム）十名、計三十名の方が参加しました。ソフトボールは、二敗しましたがホームランも出るなど試合は盛り上がりました。ソフトバレーでは念願の一勝をあげることができました。グラウンドゴルフでは、一打ずつ真剣な表情でプレーしました。

・バーベキュー大会
五月十八日（土）、バーベキュー大会が実施されました。参加者は、百五十六名と増え利用者の方々とともに大いに盛り上がりました。

・県障害者スポーツ大会
五月十九日（日）、障害者スポーツ大会が開催されました。鴨池陸上競技場で陸上競技に三名、県立短期大学では、フライングディスク競技に九名、計十二名の方が出場しました。当日は、あいにくの天気でしたが出場した選手は一生懸命に取り組みメダルを獲得しました。

・保護者総会
五月二十六日（日）、あさひが丘学園保護者総会が行われました。協議内容は、平成二十四年度事業経過報告並びに決算報告、監査報告、平成二十五年度事業計画並びに予算審議など行いました。学園からの報告事項として、平成二十四年事業報告、平成二十五年度事業計画について報告を行いました。

されない等の問題点があった。そのため、①「見守りや声かけ等の支援」の評価、②「できない場合」の評価、③「慣れていない状況や初めての場所できない場合」の評価、④「状態や症状に変化があること」の評価等が行われるように選択肢や評価方法が見直されることになった。

新たに見直された障害支援区分の調査項目は、今後九十四市区町村、三千四百件のモデル調査を実施し、調査項目及び新判定式の確定、判定ソフトの開発、市町村での導入を行い、平成二十六年四月から施行されることになっている。しかしながら、厚生労働省が示したスケジュールでは今年七月にはモデル調査が終了し、判定ソフトの開発に入るることになっているものの、六月十日現在、まだモデル調査が実施されていないことから、来年四月の施行に向けてのスケジュールがかなり厳しいものになっている。（財）日本知的障害者福祉協会では、新調査項目についての独自調査を実施することが検討されているが、新たな障害支援区分の内容について今後も注視していく必要がある。

地域生活支援センター

・河頭地区民生委員ボランティア活動
五月十二日、河頭地区民生委員ボランティアがありました。二十二名の方が来所され、最初に地域生活支援センターの事業内容などを説明し、館内の窓ふき、敷地内の除草作業を行って頂きました。普段から職員で清掃を行っていますが、行き届かないところもあり、今回のボランティア活動で、館内の窓ガラスもきれいになり、見違えるようになりました。またボランティア活動終了後は、地域センター内の多目的室を利用して、定例会を実施しました。

避難訓練

六月六日（木）に地域生活支援センターあさひが丘にて、避難訓練を実施しました。参加者は、歩路二十名、ワークショップあすもね十二名、職員十八名の計五十二名が参加しました。
合同での避難訓練が初めてだったため、事前に避難経路や機械の操作方法などの手順を事前に確認し、訓練に臨みました。訓練では一つ一つの手順をしっかりと確認しながら、行い、大きなトラブルもなく無事に終了することができました。訓練の最後には、水消火器を使った消火訓練を行いました。今後も、避難訓練を実施し職員の防火に対する意識向上に努めたいと思います。

「みんなの笑顔」



旭福祉センター 利用者
早川 みさ

こんにちは。早川みさです。
私は鹿児島大学教育学部附属養護
学校高等部を卒業してから旭福祉セ
ンターに通っています。十七年目に
なります。

菓子班でふくれ菓子とパンを作っ
ています。
私は旭福祉センターでたくさん
思い出があります。
ソフトバレーボール大会では、練
習があまりできなかったけど、みん
なで楽しく大会に出場できて、良かっ
たと思います。

バーベキューは、天気が心配でし
たが、晴れました。お肉と野菜が焼
きあがるまでの間、みんなとたくさ
ん話できて、料理もおいしかったです。
ふれあいバザーは年に二回ありま
すが二回とも家族や甥っ子達が来て
くれます。お姉ちゃんの高校三年生
と一年生の甥っ子は「みさ姉ちゃん
の会社のあさひ味噌じゃないと味噌
汁はおいしくないよ」、「ふくれ菓
子とマルポーロおいしいね」、「○
パン食べたい！」といつも言っ
てくれます。とてもうれしいです。

パンや菓子、野菜などを買ってく
れて「おいしい」と思ってくれるお
客さんが、笑顔になったり、また買
いたいなあ〜と思ってくれるように、
これからも、毎日、頑張りたいと思
います。たくさんの方の笑顔が見た
いです。

「息子の笑顔」



あさひが丘学園 保護者
樋口 香代子

我が家の長男、裕也が武岡台養護
学校高等部を卒業し、あさひが丘学
園の通所を利用するようになり一年
が過ぎました。私たち親子があさひ
が丘学園と出会ったのは、裕也三才
の時です。母子通園からお世話にな
り、養護学校に入学してからは、サー
ビスを提供してくれる事業所も少な
い中、あさひが丘学園の皆様には本
当にお世話になり、感謝しております。

現在、息子は毎朝学園へ出かけて
行きますが、いつの頃からか、朝の
挨拶が「おわたたよ・・」です。朝
から「おわたたよ・・」の息子の挨拶
に先生方も戸惑いがちです。息子の
「おわたたよ・・」の言葉を少し
考えてみました。今、息子は自分な
りに作業を頑張っていると思います
が、「おわたたよ・・」と言う言葉
に安堵感を覚えたのでしょうか「お
わたたよ・・」と笑顔でコミュニケー
ションを図ろうとしている息子に戸
惑いながらも、一年前の事を思うと、

自分から他者に話しかける事など考
えられませんでした。学園で作業し
ながら学んだコミュニケーションの
一つの言葉だったのかもしれない。
息子の笑顔で学園の温かさを感じる
ことができます。毎日の連絡帳は、
息子の様子がわかりやすく書かれて
あり、又個別支援として、翌日の作
業の予定を毎回知らせて下さるよう
になり、毎日、翌日の予定を気にす
る息子への対応がともしやすくな
りました。息子の笑顔が私たち家族
の幸せであり、常に身近で助けて頂
いている学園の皆様には、本当に感
謝しております。今後も、どうぞよ
ろしく願います。

「ものづくり」



あさひが丘学園 職員
田端 敬美

私の趣味は「ものづくり」です。
「ものづくり」と言っても幅が広く、
私の場合は、絵を描いたり、木工製
品を作ったりすることも勿論好きで
すが、目の前にある、まだ形となっ
ていないもの(材料)が何に変わる
か考え、作り出していく事。それが、
私の一番の至福の時です。ひとつの
「もの」をつくる時、初めは紙と鉛
筆を用意してデザインを考えて、計
画的に進めていく事が「ものづくり」
の順序なのかもしれませんが、計画
的に物事を進めていく事が苦手な私

は、ひらめいたら瞬間、その順序を
飛ばし、すぐに「もの」を作り出さ
ないと気が済まなくなってしまう
です。(その為、失敗することも度々
;)
学園に入社して七年目。現在、
日中2科(創作活動のクラス)を担
当し、利用者の方と共に陶芸を中心
に紙工作、絵画などの創作活動に取
り組んでいます。利用者の方が粘土
を手にすると、思いもよらぬ形に変
身します。私の持っている感性とは
かけ離れた感性の持ち主ばかりです。
それを見た時、これが次はどんな変
身をするのか。何かひらめかないか。
考えれば考えるほど胸のわくわくは
止まりません。支援員という立場に
いる私に任された使命は、充実した
日中活動時間を提供できるよう努め
ることも大事な支援ですが、みんな
が作り出した「もの」を、より多く
の人に触れてもらう為に、この世の
中に広めていく事が、今の私に任せ
られたひとつの支援だと思っています。
一人ひとりに与えられた感性は、
ひとつとして同じ物はありません。
互いが持っているものと持っていな
いもの。そのひとつ一つが組み合っ
て、あさひが丘学園からひとつの「も
の」を作り出していきたい。それが、
今の私の中の「ものづくり」のスタ
イルです。



今回は、あさひが丘学園の「ケア
ホーム四郎丸」の皆さんにスポット
です。
昨年四月に開所して、一年が過ぎ、
現在の様子をインタビューしました。
入居している八名の方に集まってい

ただき、皆さんからお話を聞きまし
た。
○皆さん、こんにちは。新しい四郎
丸で生活が始まって1年が経ちまし
た。今日は日ごろの四郎丸での様子
を教えてください。
今村「人が多くなって、色々な事を
教えるのが大変だった。洗濯とか。
今は、皆だいたいできるよになっ
てるよ。」
大山「今の四郎丸がいいです。部屋
が大きくなって良かった。リビ
ングも大きくなって良かった。」
久保「四郎丸好き。」
○新しいホームでの生活は楽しいで
すか。

吉田「部屋がきれいになって、今の
部屋に移れて嬉しい。」
養父「お部屋が広いから、いいです。
DVDを一人でゆっくり見れる
からいいです。」
福留(笑顔でうなずく)。
橋口「四郎丸」
有村(ノートにあさひが丘・四郎丸
と書くと、四郎丸に丸をつける)。
○四郎丸のご飯はおいしいですか?
養父「ご飯おいしいよ。」
大山「末吉さんが作るご飯おいしい
よ。」
吉田「横山さんが作るご飯もおい
しいよ。いいにおいがする。」
今村「職員はみんな、おいしいごは
んを作っているよ。」
○毎日おいしいご飯を食べているん
ですね。
○お休みの日は何をしていますか。
養父「皆で買い物に行くこともある
よ。」
大山「温泉に行ったりもするよ。」
久保「テレビ見る。」
吉田「部屋でゆっくり見たいテレビ
を見たりします。」
今村「学園に遊びに行くと、サッカー
をしたりして遊んでいます。も
うすぐ、フットサル大会がある
ので、休みの日はつばさ丸の南
園くんたちと一緒に練習してるよ。」
橋口「かいいの。」
福留(車のハンドルを回すジェスチャー
をして外出している事を笑顔で
教えてくれる)。
有村「かいいの。」とゆっくり返答し

でもらいました。
今村「八人で一緒に買い物に行くの
で、人数が多い。」
○みなさんは、それぞれ、あさひが
丘や旭福祉センターに通っています
が、お仕事は楽しいですか。
吉田「ワークステーションつばさに行っ
ています。きついこともあるけど、
衣類たたみを毎日頑張っています。」
大山「旭福祉センターで額縁を作っ
てるよ。毎日楽しくお仕事して
ます。」
今村「地域センターのあすもねに行っ
ています。毎日頑張っているよ。」
橋口「あすもね。」
福留(地域センターの場所を指差し
て、大きくうなずいている)。
○たくさんのお話を聞かせてくれて、
ありがとうございます。最後にこれ
から四郎丸でどんなことがしたいで
すか。
吉田「部屋の模
様替えがし
たい。CD
デッキを買っ
て、いきも
のがかりの
CDを聴き



養父「旅行に行きたい。東京に行っ
てみたい。」
大山「いろんな職員に遊びに来ても
らいたい。いろんな人にご飯を作っ
てもらいたいな。」
福留(車のハンドルを回して、外を
指さしお出かけのジェスチャー
を見せる)。
・外出に行きたいですか?
福留(笑顔でうなずく)。
今村「旅行に行きたい。あと、お休
みの日に映画とか見に行きたいなあ。
ひとりは不安だし、南園くん
かと行ってみたい。」
○今日はありがとうございました。
楽しいお話をたくさん聞くことがで
きて良かったです。これから本格的
に暑くなってきましたので、体調に気
をつけてお仕事がんばってください。

さんぽみち

→大盛況でした
たくさんの人で賑わいました↓

あさひが丘学園
旭福祉センター

落穂会・ゆうかり
ふれあいバザー

あさひが丘学園
人気商品「お地藏様」

←まだ焼けないかな
みんなで食べると美味しいね!!

旭福祉センター

BBQ

あさひが丘学園

←外での食事は格別です

→待望のホームラン

あさひが丘学園

施設親善球技大会

旭福祉センター

←ボールをよく見て

←とても楽しかったです

すなっふ スナック

あさひが丘学園

保護者会
総会

←ガスバーナーでの焼き入れ

保護者ボランティア

あさひが丘学園

↑アルファベット型抜き

←ネームプレート製作

旭福祉センター

県障害者
スポーツ大会

雨の中でも楽しみました

地域生活支援センター

避難訓練

水消火器を使って訓練しました

ハンカチを口に当てて避難します

民生委員
ボランティア

地域生活支援センター

2013/5/12

2013/6/12